

塚原歴史民俗資料館

1 概要

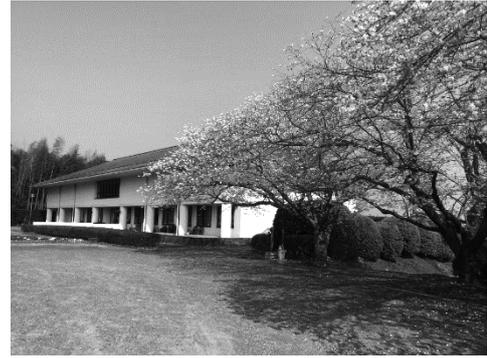
熊本市塚原歴史民俗資料館は、館名のとおり史跡塚原古墳群に隣接しており、同史跡のガイダンス施設の役割も果たしている。

館内には、塚原古墳群からの出土資料をはじめ、城南町時代に収集された数万点にのぼる考古・歴史・民俗分野の資料を収蔵展示している。

主な展示物には、重要文化財の台付舟形土器、県指定重要文化財の千々屋寺の馬頭観音立像や国指定史跡阿高・黒橋貝塚、御領貝塚出土の資料、県内最古の旧石器（沈目遺跡）、貴重な弥生時代の青銅器（新御堂遺跡）、県内最古の寺院跡陳内廃寺の出土瓦等がある。また、考古学史を語るうえで重要な小林久雄氏収集の資料（通称小林久雄コレクション）を収蔵展示している。

<熊本市塚原歴史民俗資料館のあゆみ>

- 昭和 49 年 12 月 日本道路公団・文化庁・熊本県・城南町の四者協定により資料館建設の方針決定。
- 昭和 51 年 12 月 塚原古墳群国指定史跡となる。
- 昭和 54 年 3 月 『塚原古墳群管理計画書』により、資料館に係る基本計画を策定。
- 昭和 56 年 4 月 城南町歴史民俗資料館建設準備委員会発足。
- 昭和 56 年 7 月 建設予定地発掘調査。
- 昭和 57 年 9 月 城南町歴史民俗資料館の建設に着工。
- 昭和 58 年 3 月 城南町歴史民俗資料館が竣工。
- 昭和 58 年 11 月 城南町歴史民俗資料館が開館。
- 平成 2 年 資料館敷地内に古代祭再現石造群設置。
- 平成 3 年 資料館敷地内に竪穴住居・高床倉庫築。
- 平成 22 年 3 月 合併により、熊本市塚原歴史民俗資料館と改名。
- 平成 28 年 4 月 平成 28 年熊本地震の影響を受けて一時休館。
(平成 29 年 7 月再開)



資料館全景



考古展示室

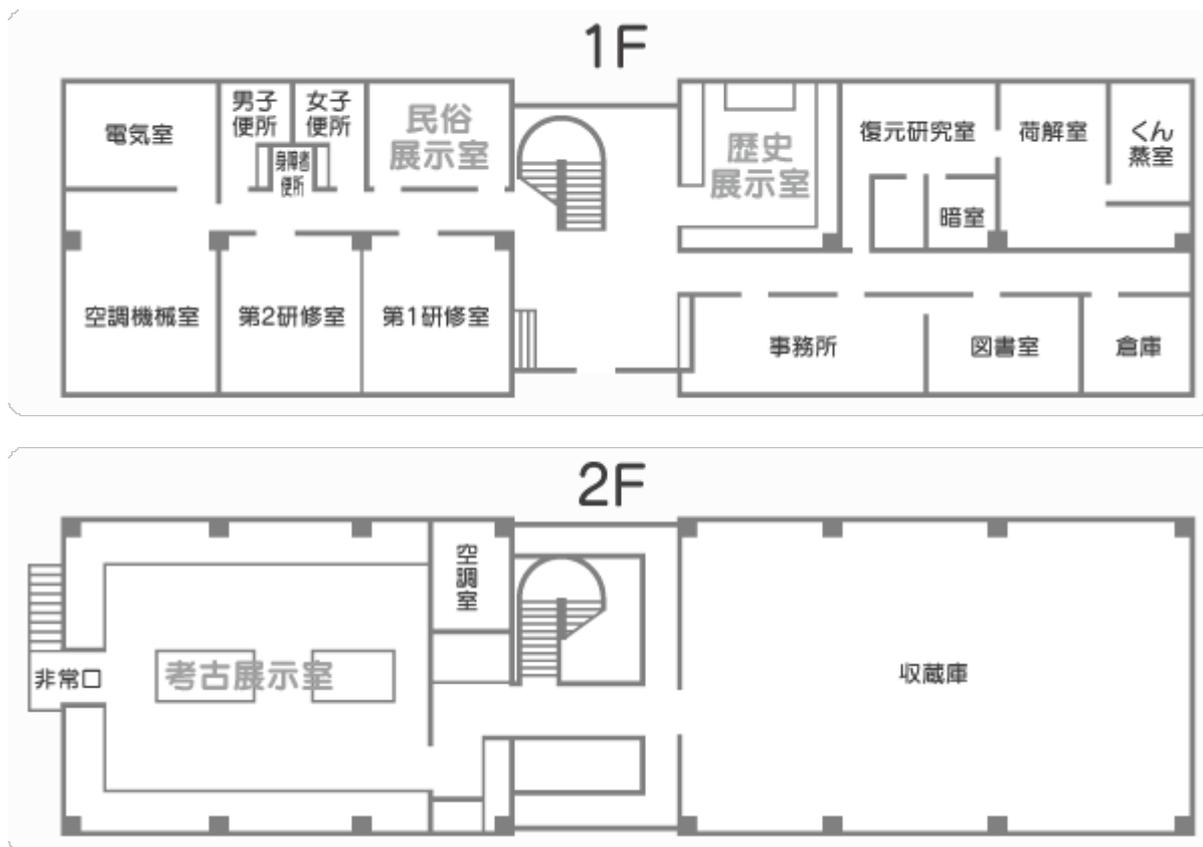


歴史展示室



民俗展示室

塚原歴史民俗資料館概要図



<熊本市塚原歴史民俗資料館施設面積>

敷地面積	7301 m ²	延床面積	1,387 m ²
建築面積	890 m ²	展示室面積	351 m ²
考古展示室	280 m ²	事務室	43 m ²
歴史展示室	43 m ²	倉庫	14 m ²
民俗展示室	28 m ²	荷解室	21 m ²
収蔵庫	306 m ²	機械電気室	87 m ²
研修室	87 m ²	ロビー	87 m ²
図書室	28 m ²	便所	28 m ²
復元研修室	43 m ²	その他	275 m ²
燻蒸室	17 m ²		
<p>●構造 鉄筋コンクリート2階建て</p> <p>●事業費 324,718千円</p> <p>※復元研究室には、器具室・暗室を含む。</p>			

2 学芸活動

1 展示

(1) 企画展

ア 「A5 ランクの資料展～せっかく塚原に来たつなら ころだけは見ていきなっせ～」



令和2年度開催の企画展は、当館で展示・収蔵している資料の内、学術上、特に価値の高いものをピックアップして集約展示した。

主な展示物は、国指定の重要文化財「台付舟形土器」、県指定文化財の「馬頭観音立像」の他、県内最古の石器である「沈目遺跡の旧石器」、県内で唯一出土している王莽銭「大泉五十」など、いずれも他館では見られない逸品を展示した。

新型コロナウイルス感染症拡大により、来館者が少なかったことが悔やまれる。

期 間 12月22日(火)～2月28日(日)

(開催日数) 57日

会 場 塚原歴史民俗資料館特別展示室

入場者 243名

関連行事(感染症対策のため、以下は中止)

①講演会(1月17日)

「先人が残した宝物

～南区城南町の文化財～」

②イベント(1月31日)

土器づくり

～重要文化財台付舟形土器に挑戦～

2 教育普及

(1) 教室・講座

令和2年度の教室・講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月～6月、1月以降の期間は実施しなかった。

ア 古文書講座

受講年齢制限なしの通年の講座。例年は月1回、第3日曜日に開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月からの開始となった。受講も人数制限のため2班に分けて実施した(両班とも2回の受講で終了)。

前年度に引き続き、熊本史学会会員の花岡興史氏に「熊本の史料に見る幕藩関係」というテーマで講義をしていただいた。

4.19 開講式

記念講演「熊本の考古学史」	中止
5.17 熊本の史料に見る幕藩関係	中止
6.21 熊本の史料に見る幕藩関係	中止
7.19 熊本の史料に見る幕藩関係	中止
8.16 熊本の史料に見る幕藩関係	中止
9.20 熊本の史料に見る幕藩関係①	14名
10.18 熊本の史料に見る幕藩関係①	14名
11.15 熊本の史料に見る幕藩関係②	15名
12.20 熊本の史料に見る幕藩関係②	14名
1.17 熊本の史料に見る幕藩関係③	中止
2.21 熊本の史料に見る幕藩関係③	中止

イ 考古学講座

年齢制限なしの通年の講座。当館学芸員及び熊本市文化財課の職員が講師となり開催した。

原始から古代を中心に、各回テーマを設定して講義を行ったが、古文書講座同様、感染症拡大防止のため、開講は10月からとなった。実施回数は4回。

4.19 開講式

記念講演「熊本の考古学史」	中止
5.10 地下に歴史を掘る	
～考古学の基礎知識～	中止

- 6. 7 平城京拾い読み
～平城貴族と庶民の暮らし～ 中止
- 7. 5 西海道と肥後の国 中止
- 8. 2 熊本の古代
～二本木遺跡群とは～ 中止
- 9. 6 始原期の人類を求めて 中止
- 10. 4 始原期の人類を求めて 13名
- 11. 1 熊本の古代
～遺跡の調査から見えるもの～ 11名
- 12. 6 司馬遼太郎の歴史観から戦前を見る
13名
- 1.10 清正の土木 中止
- 2. 7 清正の土木 中止

ウ 土器づくり教室（春）

年齢制限なしの教室。縄文・弥生土器の製作技法である輪積法により制作した土器を雲南式土窯により焼成。

実施日 4月19日（日） 中止

エ 榎実鉄砲を作って遊ぼう

小学生対象。昔遊びの体験教室。

実施日 5月24日（日） 中止

オ 古代文様のメダルを作ろう

小学生対象。粘土に古代の瓦や土器の文様を写し、素焼きにしたものに採色してメダルを作る。

実施日 6月28日（日） 中止

カ 藍染体験教室～藍の色は愛の色～

初めて実施した講座で、20名の募集に対し100名近くの応募があり、急遽実施日を増やして対応することとした。

綿のハンカチを藍タデの生葉を使って染め上げた。

実施日 7月26日（日）、8月8日（土）、
8月10日（月・祝）

参加者 54名



藍染体験教室～藍の色は愛の色～

キ 夏だ!!わくわく古代体験教室

歴史や考古学の楽しさを伝えるために、小学生を対象に夏休みに2日間開催。

【1日目】8月21日（金）

内容 「勾玉作りと火起こし体験」

蠟石を使った勾玉づくりと舞錐を使った火起こしを行った。

参加者 11名

【2日目】8月23日（日）、29日（土）

内容 「埴輪づくりと火起こし体験」

オリジナルの埴輪づくりと舞錐を使った火起こし体験を行った。

参加者 26名



古代体験教室ーオリジナル埴輪づくりー

ク 古代織体験教室

年齢制限なしの教室。原始機（地機）を使った機織り体験。小学生から高齢者まで参加。

実施日 9月27日(日)

参加者 7名

ケ 学芸員と歩く野外博物館

年齢制限なしの教室。春と秋に実施。塚原歴史民俗資料館の館内見学と館周辺に自生する野草や遺跡の観察を行う講座。植物及び考古担当学芸員が案内役。2月から5月まで休館していたため、秋のみの実施となった。

実施日 10月25日(日)

参加者 11名



学芸員と歩く野外博物館

コ 土器づくり教室

塚原歴史民俗資料館に収蔵している土器をモデルに、各自が思い思いの土器を作成。焼成は、雲南式の土器焼成法で行った。例年は春と秋の2回実施しているが、秋のみの開催となった。

実施日 11月3日(火・祝)、22日(日)

参加者 34名

サ 押し花づくり教室

年齢制限なしの教室。野草や紅葉した落ち葉の押し花を使って缶バッジや絵葉書を製作した。

実施日 11月29日(日)

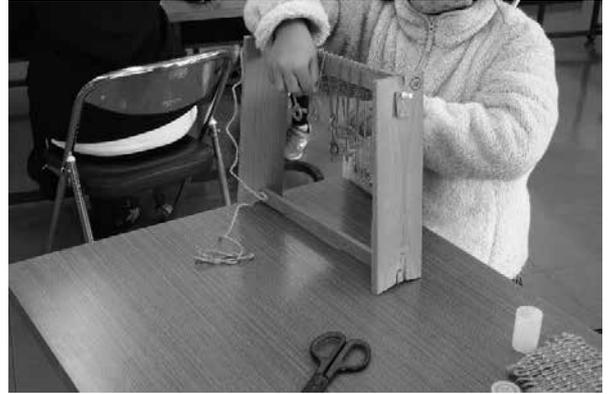
参加者 18名

シ 編布コースターづくり教室

年齢制限なしの教室。縄文時代からある「編布」の編み方でコースターを作る体験教室。

実施日 12月13日(日)

参加者 7名



編布コースターづくり教室

ス オリジナル埴輪づくり

期日 1月24日(日)

中止

(2) 館外活動

ア 清水小学校6年生

体験教室として、勾玉づくりと舞錐による火起こしを指導した。ソーシャルディスタンスを確保するため、屋外での実施となった。

実施日 11月6日(金)

参加者 90名

(3) その他の活動

ア フレンドリー

体験教室として、勾玉づくり・火起こしを指導。

実施日 10月23日(金)

参加者 17名

イ 城南児童館

体験教室として、勾玉づくりを指導

実施日 10月11日(日)

参加者 10名

(4) 博物館実習生の受け入れ

8月18日(火)～23日(日)までの6日間、福岡大学から1名を受け入れ、博物館活動についての指導を行った。詳細は以下のとおり。

8.18 受入式

講義「熊本市塚原歴史民俗資料館について」及び館内実見
企画展示案作成(基本構想)

8.19 民俗資料整理(写真・パソコン入力)

企画展示案作成(基本設計)

8.20 考古資料整理(資料確認作業)

企画展示案作成(実施設計)

8.21 歴史資料整理(写真・パソコン入力)

企画展示案作成(実施設計)

8.22 歴史資料の整理(パソコン入力)

企画展示案作成(展示レイアウト作り)

8.23 体験教室指導(オリジナル埴輪づくり)

展示案プレゼンテーション

実習報告書作成



実習生考古資料整理風景

3 収集保存

(1) 資料の利用

ア 資料特別利用

6.19 台付舟形土器 1点

(宮崎県埋蔵文化財センター)

10.25 石棒(御領貝塚出土) 1点

石刀(大明神遺跡) 1点

(鹿児島県埋蔵文化財調査センター)



イ 資料の貸出

11.20～2.05 陳内廃寺出土 複弁・単弁蓮華文

軒丸瓦 3点(宇城市教育委員会)



(2) 資料の燻蒸

業者委託により収蔵室のガス燻蒸を実施。使用薬剤はミラクンGX

実施日 8月10日(月・祝)～11日(火)

令和2年度熊本市塚原歴史民俗資料館入館者数

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一般	大人	臨時 休館	21	40	51	127	46	55	124	40	35	66	53	658
	小人		0	0	0	9	3	1	7	2	0	2	5	29
団体	大人		0	0	0	0	0	47	0	0	0	34	0	81
	小人		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計			21	40	51	136	49	103	131	42	35	102	58	768

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
免除	大人	臨時 休館	13	35	54	38	49	73	69	42	29	40	57	499
	幼児		0	10	10	25	6	1	22	4	4	7	3	92
	小・中 学生		12	17	27	80	33	40	37	2	7	6	106	367
計			25	62	91	143	88	114	128	48	40	53	166	958

合計	0	46	102	142	279	137	217	259	90	75	155	224	1,726
----	---	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	-----	-----	-------